

# ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

## 運用報告書(全体版)

### 第32期

(決算日 2023年12月18日)

(作成対象期間 2023年6月17日～2023年12月18日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限 (設定日: 2007年12月26日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
28期末(2021年12月16日)	8,589	500	6.4	15,174	9.8	93.6	3.9	14,609
29期末(2022年6月16日)	8,788	200	4.6	15,787	4.0	93.7	3.7	14,433
30期末(2022年12月16日)	9,406	850	16.7	17,718	12.2	94.2	3.6	17,904
31期末(2023年6月16日)	9,591	600	8.3	18,254	3.0	94.5	2.9	31,906
32期末(2023年12月18日)	10,169	750	13.8	21,428	17.4	93.4	3.6	126,900

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

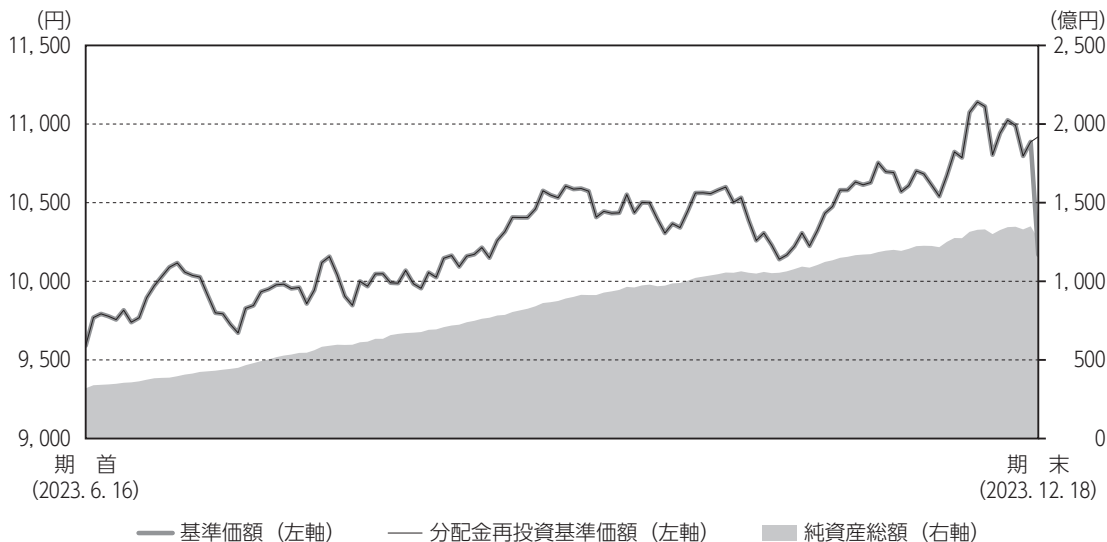
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：9,591円

期末：10,169円（分配金750円）

騰落率：13.8%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」を通じてインド株式に投資した結果、インド経済の高成長期待などから株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年 6月16日	9,591	—	18,254	—	94.5	2.9
6月末	10,031	4.6	19,092	4.6	94.6	2.5
7月末	9,944	3.7	19,135	4.8	93.7	2.5
8月末	10,214	6.5	19,742	8.2	93.2	2.7
9月末	10,436	8.8	20,245	10.9	94.2	3.0
10月末	10,222	6.6	19,872	8.9	94.4	3.1
11月末	10,672	11.3	20,741	13.6	94.0	3.5
(期末) 2023年12月18日	10,919	13.8	21,428	17.4	93.4	3.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

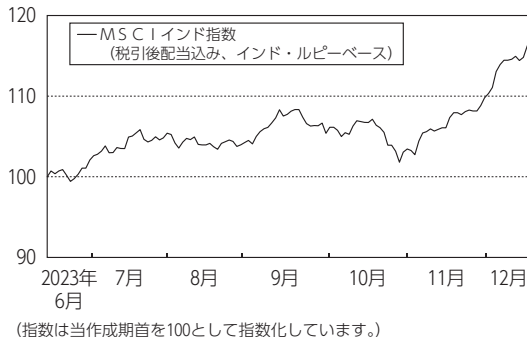
(2023. 6. 17 ~ 2023. 12. 18)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2023年9月半ばにかけて、RBI（インド準備銀行）の利上げ打ち止め観測やインド経済の成長期待が支援材料となり、堅調に推移しました。10月にかけては、中東情勢の緊迫化や米国の金融引き締め長期化懸念による米国金利の上昇などを嫌気し、調整しました。11月以降は、米国の追加利上げ観測の後退に加え、州議会選挙においてモディ氏が率いる政権与党が事前予想を上回る結果を収めるなど、2024年の下院総選挙における与党勝利およびモディ首相続投への期待が高まる中、大きく上昇しました。

株価指数の推移

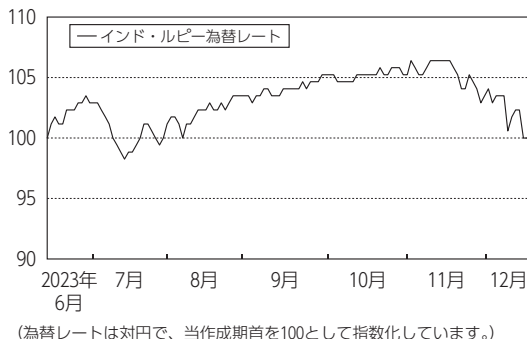


■為替相場

インド・ルピーは、円に対して横ばいとなりました。

インド・ルピーは、当作成期首より対円で上昇（円安）して始まったものの、2023年7月半ばにかけては、米国のインフレ鈍化期待の高まりを背景とする円高米ドル安の動きなどから、対円で下落（円高）しました。7月半ばから10月末にかけては、米国の金融引き締め長期化観測を背景とする米国金利の上昇を受けて円安米ドル高が進行したことなどから、ルピーは対円で上昇しました。11月から当作成期末にかけては、米国金利の低下を受けて円高米ドル安となったことなどから、ルピーは対円で下落しました。

為替相場の推移



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 17 ~ 2023. 12. 18)

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。

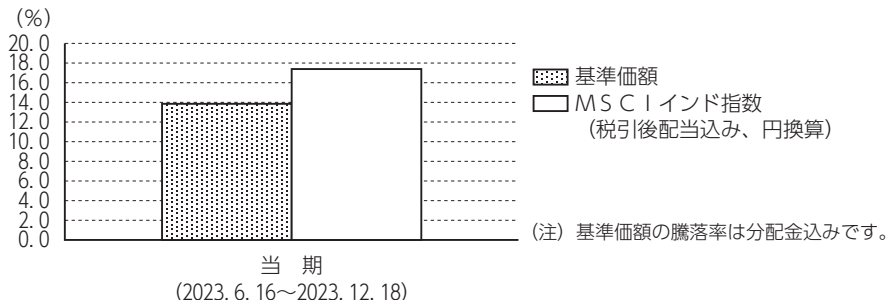
業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

個別銘柄では、堅固な事業基盤を有する民間銀行大手の AXIS BANK LTD（金融）や ICICI BANK LTD-SPON ADR（金融）などを組入上位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2023年6月17日 ~2023年12月18日	
<b>当期分配金 (税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>750</b>
対基準価額比率	(%)	6.87
当期の収益	(円)	750
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,302

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	43.85円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	764.33
(c) 収益調整金		2,036.05
(d) 分配準備積立金		208.38
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		3,052.63
(f) 分配金		750.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,302.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加を背景に需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 17~2023. 12. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0.934%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,299円です。
(投 信 会 社)	(46)	(0.445)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.445)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	34	0.332	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(34)	(0.330)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
有 価 証 券 取 引 税	14	0.139	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(14)	(0.139)	
そ の 他 費 用	33	0.324	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(31)	(0.298)	インドのキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	178	1.729	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

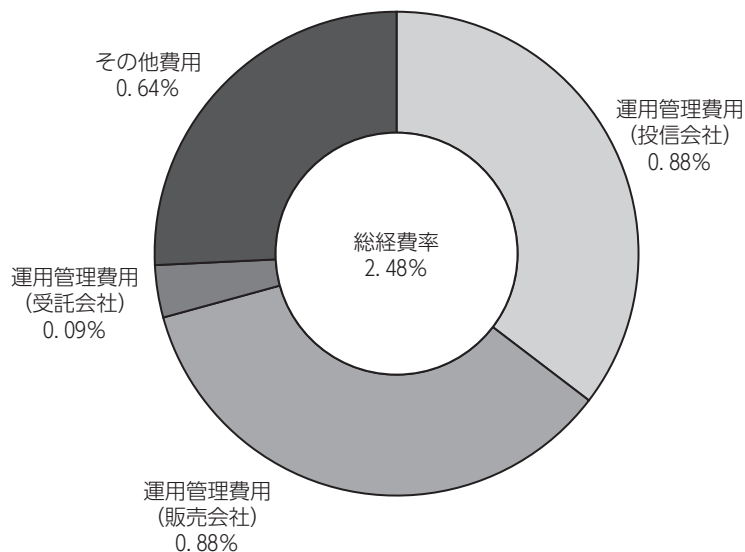
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.48%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月17日から2023年12月18日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	48,637,191	92,140,400	4,701,497	9,606,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年6月17日から2023年12月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	90,933,338千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	78,291,926千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.16

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	18,123,426	62,059,120	125,520,777

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	125,520,777	91.5
コール・ローン等、その他	11,616,664	8.5
投資信託財産総額	137,137,441	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.20円、1インド・ルピー=1.72円、1ユーロ=155.00円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(123,845,615千円)の投資信託財産総額(125,518,876千円)に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	137,137,441,517円
コール・ローン等	11,616,664,236
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	125,520,777,281
(B) 負債	10,236,556,290
未払収益分配金	9,359,731,702
未払解約金	90,162,525
未払信託報酬	785,492,502
その他未払費用	1,169,561
(C) 純資産総額(A-B)	126,900,885,227
元本	124,796,422,697
次期繰越損益金	2,104,462,530
(D) 受益権総口数	124,796,422,697口
1万口当り基準価額(C/D)	10,169円

\* 期首における元本額は33,267,444,749円、当作成期間中における追加設定元本額は96,251,815,460円、同解約元本額は4,722,837,512円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,169円です。

■損益の状況

当期 自 2023年 6月17日 至 2023年12月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 84,553円
受取利息	2,816
支払利息	△ 87,369
(B) 有価証券売買損益	10,872,752,440
売買益	11,114,523,042
売買損	△ 241,770,602
(C) 信託報酬等	△ 786,662,063
(D) 当期損益金 (A + B + C)	10,086,005,824
(E) 前期繰越損益金	2,600,531,725
(F) 追加信託差損益金	△ 1,222,343,317
(配当等相当額)	( 25,409,220,541)
(売買損益相当額)	(△ 26,631,563,858)
(G) 合計 (D + E + F)	11,464,194,232
(H) 収益分配金	△ 9,359,731,702
次期繰越損益金 (G + H)	2,104,462,530
追加信託差損益金	△ 1,222,343,317
(配当等相当額)	( 25,409,220,541)
(売買損益相当額)	(△ 26,631,563,858)
分配準備積立金	3,326,805,847

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 213,282,012円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	547,341,854円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	9,538,663,970
(c) 収益調整金	25,409,220,541
(d) 分配準備積立金	2,600,531,725
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	38,095,758,090
(f) 分配金	9,359,731,702
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	28,736,026,388
(h) 受益権総口数	124,796,422,697口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

750円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第32期 (決算日 2023年12月18日)

(作成対象期間 2023年 6月17日～2023年12月18日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

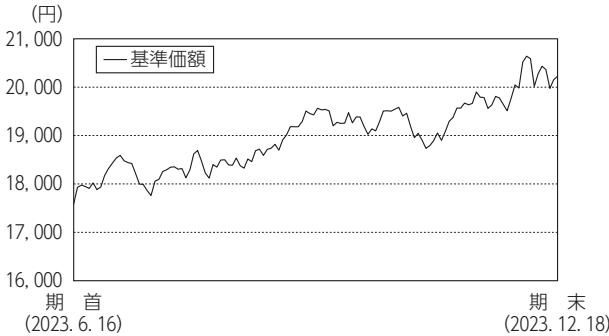
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,586円 期末：20,226円 騰落率：15.0%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、インド経済の高成長期待などから株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2023年9月半ばにかけて、RBI（インド準備銀行）の利上げ打ち止め観測やインド経済の成長期待が支援材料となり、堅調に推移しました。10月にかけては、中東情勢の緊迫化や米国の金融引き締め長期化懸念による米国金利の上昇などを嫌気し、調整しました。11月以降は、米国の追加利上げ観測の後退に加え、州議会選挙においてモディ氏が率いる政権与党が事前予想を上回る結果を収めるなど、2024年の下院総選挙における与党勝利およびモディ首相続投への期待が高まる中、大きく上昇しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して横ばいとなりました。

インド・ルピーは、当作成期首より対円で上昇（円安）して始まったものの、2023年7月半ばにかけては、米国のインフレ鈍化期待の高まりを背景とする円高米ドル安の動きなどから、対円で下落（円高）しました。7月半ばから10月末にかけては、米国の金融引き締め長期化観測を背景とする米国金利の上昇を受けて円安米ドル高が進行したことなどから、ルピーは対円で上昇しました。11月から当作成期末にかけては、米国金利の低下を受けて円高米ドル安となったことなどから、ルピーは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

個別銘柄では、強固な事業基盤を有する民間銀行大手の AXIS BANK LTD（金融）や ICICI BANK LTD-SPON ADR（金融）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

年 月 日	基準価額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、 円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	%	参考指数	%		
(期首) 2023年 6月16日	17,586	—	18,267	—	94.6	2.9
6月末	18,428	4.8	19,107	4.6	94.7	2.5
7月末	18,290	4.0	19,149	4.8	93.9	2.6
8月末	18,820	7.0	19,756	8.2	93.4	2.7
9月末	19,261	9.5	20,260	10.9	94.4	3.0
10月末	18,893	7.4	19,887	8.9	94.5	3.2
11月末	19,762	12.4	20,756	13.6	94.2	3.5
(期末) 2023年12月18日	20,226	15.0	21,444	17.4	94.5	3.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCIインド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加を背景に需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	63円 ( 63)
(先物・オプション)	( 0)
有価証券取引税 (株式)	27 ( 27)
その他費用 (保管費用)	61 ( 5)
(その他)	( 56)
合 計	151

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2023年6月17日から2023年12月18日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
AXIS BANK LTD (インド)	千株 3,875	千円 6,850,912	円 1,767	AXIS BANK LTD (インド)	千株 410	千円 781,807	円 1,906
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	1,952	6,663,117	3,413	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	200	693,722	3,468
HDFC BANK LIMITED (インド)	2,179	6,165,091	2,829	WIPRO LTD (インド)	910	670,862	737
ABB INDIA LTD (インド)	760.865	5,916,472	7,775	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	75	621,208	8,282
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	584	5,100,297	8,733	HDFC BANK LIMITED (インド)	210	593,724	2,827
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	913	4,519,300	4,949	ULTRATECH CEMENT LTD (インド)	26	435,507	16,750
CUMMINS INDIA LTD (インド)	1,191.179	3,819,323	3,206	LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	70	401,996	5,742
INDIAN HOTELS CO LTD (インド)	4,607.199	3,344,190	725	MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	20	359,176	17,958
MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	184.5	3,326,679	18,030	HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	80	343,836	4,297
ULTRATECH CEMENT LTD (インド)	208	3,119,454	14,997	MAHINDRA & MAHINDRA LTD (インド)	100	283,280	2,832

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2023年6月17日から2023年12月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 34,240 ( ー)	千アメリカ・ドル 95,728 ( ー)	百株 2,750	千アメリカ・ドル 9,174
	インド	百株 373,216.93 ( 4,017.44)	千インド・ルピー 39,781,555 ( ー)	百株 22,157.78	千インド・ルピー 2,852,338

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2023年6月17日から2023年12月18日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 18,498	百万円 15,120	百万円 ー	百万円 ー

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
<b>(アメリカ)</b>					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	8,110	25,630	62,921	8,947,458	金融
INFOSYS LTD-SP ADR	3,950	12,830	23,953	3,406,203	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	2,349.06	7,439.06	44,708	6,357,584	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	14,409.06 3銘柄	45,899.06 3銘柄	131,584 <14.9%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
<b>(インド)</b>					
NUVOCO VISTAS LTD	1,832.11	8,545.48	318,532	547,876	素材
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	3,704.85	13,104.85	724,436	1,246,030	一般消費財・サービス
FSN E-COMMERCE VENTURES LTD	13,360	44,303.06	783,499	1,347,619	一般消費財・サービス
PAGE INDUSTRIES LTD	49.55	256.2	969,775	1,668,014	一般消費財・サービス
PHOENIX MILLS LTD	1,615.11	5,071.98	1,164,957	2,003,727	不動産
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	2,225	7,995.5	1,160,666	1,996,346	金融
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	6,000	20,600	1,386,586	2,384,927	金融
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	1,614	5,575.26	1,686,348	2,900,520	金融
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	1,924.64	6,481.63	770,406	1,325,099	素材
TATA STEEL LTD	27,839	85,839	1,171,273	2,014,589	素材
CIPLA LTD	2,200	6,541.52	789,626	1,358,158	ヘルスケア
AXIS BANK LTD	13,974	48,624	5,447,589	9,369,854	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	642.5	2,287.5	2,353,014	4,047,184	一般消費財・サービス
DLF LTD	7,450	24,350	1,717,405	2,953,937	不動産
HINDUSTAN UNILEVER LTD	2,685	8,685	2,191,138	3,768,758	生活必需品
ULTRATECH CEMENT LTD	727.87	2,547.87	2,555,373	4,395,242	素材
BHARAT FORGE LTD	3,780	12,183.44	1,457,992	2,507,746	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD	4,890	16,001.79	3,082,744	5,302,321	資本財・サービス
DIVI'S LABORATORIES LTD	844	2,884.45	1,066,395	1,834,200	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD	157	471.64	1,356,384	2,332,981	素材
TECH MAHINDRA LTD	—	5,830.75	761,554	1,309,873	情報技術
TVS MOTOR CO LTD	2,416	8,436	1,702,848	2,928,899	一般消費財・サービス
EICHER MOTORS LTD	1,031	3,041	1,234,615	2,123,538	一般消費財・サービス
HINDALCO INDUSTRIES LTD	8,701	30,301	1,688,523	2,904,259	素材
WIPRO LTD	4,200	—	—	—	情報技術
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	802	2,752	1,062,547	1,827,581	情報技術
LARSEN & TOUBRO LTD	3,409.5	11,839.5	4,129,617	7,102,942	資本財・サービス
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	3,868	—	—	—	金融
HDFC BANK LIMITED	2,390.8	32,006.24	5,301,993	9,119,429	金融
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	3,761	13,261	2,287,456	3,934,424	一般消費財・サービス
ABB INDIA LTD	2,715.3	9,996.17	4,833,248	8,313,186	資本財・サービス
INDIAN HOTELS CO LTD	19,693.68	65,765.67	2,891,387	4,973,186	一般消費財・サービス
インド・ルピー通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	150,502.91 31銘柄	505,579.5 30銘柄	58,047,941 <79.5%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	164,911.97 34銘柄	551,478.56 33銘柄	— <94.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。



(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国	百万円	百万円
IFSC NIFTY 50（インド）	4,535	—

（注1）外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注2）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
株式	118,553,705	94.5
コール・ローン等、その他	6,965,170	5.5
投資信託財産総額	125,518,876	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.20円、1インド・ルピー＝1.72円、1ユーロ＝155.00円です。

（注3）当期末における外貨建純資産（123,845,615千円）の投資信託財産総額（125,518,876千円）に対する比率は、98.7%です。

■損益の状況

当期 自 2023年6月17日 至 2023年12月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	567,500,080円
受取配当金	291,896,993
受取利息	6,673,917
その他収益金	269,201,760
支払利息	△ 272,590
(B) 有価証券売買損益	10,469,645,629
売買益	12,819,170,946
売買損	△ 2,349,525,317
(C) 先物取引等損益	340,262,844
取引益	439,557,833
取引損	△ 99,294,989
(D) その他費用	△ 265,173,108
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	11,112,235,445
(F) 前期繰越損益金	13,748,914,593
(G) 解約差損益金	△ 4,904,602,349
(H) 追加信託差損益金	43,503,208,586
(I) 合計 (E + F + G + H)	63,459,756,275
次期繰越損益金 (I)	63,459,756,275

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	125,518,876,853円
コール・ローン等	5,835,837,095
株式（評価額）	118,553,705,970
未収入金	326,933,300
差入委託証拠金	802,400,488
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	125,518,876,853
元本	62,059,120,578
次期繰越損益金	63,459,756,275
(D) 受益権総口数	62,059,120,578口
1万口当り基準価額 (C / D)	20,226円

\* 期首における元本額は18,123,426,815円、当作成期間中における追加設定元本額は48,637,191,414円、同解約元本額は4,701,497,651円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド 62,059,120,578円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,226円です。